

農学基礎シリーズ

大学生向け教科書。基礎から先端研究まで、ビジュアルに解説したオールカラー版テキスト。

森林保護学の基礎

編著者：代表・小池孝良（北海道大学大学院農学研究院研究員・名誉教授）、
中村誠宏（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授）、
宮本敏澄（北海道大学大学院農学研究院講師）

B5判 192頁 ●4,620円（税込） ISBN:9784540122101

森林保護学は、森林への危害の原因や性質を研究し、予防、駆除の理論と方法論を解明する「押さえ込む」管理の学問として成立しすすめられてきた。しかし、急激な環境変化や生物多様性の危機などから、最近では、森林を生態系としてとらえ、生態系を保全・高度化するという方向、すなわち「総合的生物多様性管理（IBM）」に大きく転換してきている。本書はその立場から、気象災害・火災・大気汚染、病害、虫害、野生動物、侵入外来種まで、森林生態系の保護・保全を基本にした新しい森林保護学の入門書。



目次

序 森林保護学とはなにか（小池孝良）

1. 森林保護学の定義
2. 森林保護学の目的

第1章 森林生態系の特徴と地域環境（小池孝良）

1. 森林の分類
2. 森林生態系がつくる環境
3. 森林と地域環境
4. 森林生態系の攪乱と衰退

第2章 森林被害の特徴と保護の考え方

1. 造林と森林保護の必要性（小池孝良）
2. 森林の利用と被害の歴史（岸 洋一・小池孝良）
3. 森林被害の特徴と保護の課題（小池孝良）
4. 農薬を使わない防除の課題（小池孝良）
5. 農薬の利用と注意点（楠本大）

第3章 気象災害、火災、大気汚染（小池孝良）

1. 低温による凍霜害（一部：佐野雄三、北尾光俊）
2. 雪害
3. 風による被害
4. 山火事
5. 大気汚染

4章 病害—病原微生物や寄生による樹木への影響

1. 森林、樹木と病害（宮本敏澄・小池孝良）
2. タネ、芽生えの病害（宮本敏澄・小池孝良）

3. 枝、幹の病害と腐朽害（宮本敏澄・小池孝良）

4. おもに葉を枯らす病害（宮本敏澄・小池孝良）
5. ナラ枯れ（ナラ・カシ類萎凋病）（宮本敏澄・小池孝良・黒田慶子）
6. 共生菌類—菌根菌（宮本敏澄・小池孝良）

第5章 害虫—昆虫による樹木への影響（小池孝良・中村誠宏）

1. 昆虫と害虫—害虫とは
2. 害虫の発生
3. 被害からみた昆虫（害虫）の分類
4. 幹、枝を加害する昆虫
5. タネ食い虫—食害と生態系の安定性
6. キノコの害虫（この項：玉井裕）
7. 樹木と植食性昆虫のせめぎあい

第6章 野生動物と森林管理

- はじめに（揚妻直樹）
1. 森林保護学での野生動物の位置づけ（揚妻直樹）
 2. 野生動物による林業被害と対策（揚妻直樹）
 3. シカの個体数変動と森林生態系保全（揚妻直樹）
 4. 他の加害動物（岸 洋一）
 5. 激減する野生哺乳動物と森林の役割（岸 洋一）

第7章 森林保護から生態系保全へ

1. 森林保護の考え方（小池孝良）
2. 外来種の生態系への影響と対応（小池孝良）

3. 侵入病害マツ材線虫病の猛威と教訓（岸 洋一 一部：池田武文）

4. 総合的病害虫管理（IPM）から総合的生物多様性管理（IBM）へ（小池孝良）

〈付録〉森林保護学と樹木医学の関連と役割

- 1 樹木医学の実践：樹木医からの一言（吉田憲一）
- 2 森林保護学と樹木医学（福田健二）

〈付表〉樹木のおもな病害の症状と対策（宮本敏澄）

【コラム著者】

小林 真、関川清広、上原 巖、来田和人、丸山 温、小泉章夫、津田 智、松浦陽次郎、山口真弘、渡辺 誠、山岡好夫、徳田佐和子、幸田圭一、山口岳広、小野寺賢介、鎌田直人、梶村 恒、江沢辰広、松田陽介、前藤 薫、島田卓哉、松木佐和子、渡邊陽子、中路達郎、江口則和、塩尻かおり

注文書

農学基礎シリーズ

森林保護学の基礎



冊

B5判 192頁 ●4,620円（税込） ISBN:9784540122101

氏名(団体名)	ご住所(〒 -)	書店番線
ご担当者様		
TEL - - FAX - - E-mail		



一般社団法人 農山漁村文化協会
〒107-8668

東京都港区赤坂 7-6-1

<http://shop.ruralnet.or.jp/>

TEL.03-3585-1142 FAX.03-3585-3668

- 北海道支部（札幌） TEL011-271-1471
- 東北支部（仙台） TEL022-262-5804
- 関東甲信越支部（小山） TEL0285-27-3047
- 東海北陸近畿支部（名古屋） TEL052-746-2061

- FAX011-261-2809
- FAX022-221-2235
- FAX0285-27-6804
- FAX052-746-2063

- 東海北陸近畿支部（大阪） TEL.06-6962-0491 FAX.06-6962-4855
- 中国四国支部（岡山） TEL.086-231-2693 FAX.086-232-0385
- 九州沖縄支部（福岡） TEL092-586-6505 FAX092-586-6507